

第75回杉並区民体育祭秋季大会 第48回空手道競技大会要項

日時：2023年12月17日（日）

会場：日本大学鶴ヶ丘高等学校 体育館

1. 全体方針

- (1) 種目は個人形、団体形、個人組手とする。
- (2) 試合会場のコートは4コートとする。
- (3) 種目区分（以下）は現時点の想定。参加状況に応じて今後確定。

形

- A. 団体形の部
- B. 幼児の部
- C. 小学1・2年の部
- D. 小学3・4年の部
- E. 小学5・6年の部
- F. 中学生女子の部
- G. 中学生男子の部
- H. 少年女子の部
- I. 少年男子の部
- J. 一般女子の部
- K. 一般男子の部
- L. シニア女子の部（40歳以上）
- M. シニア男子の部（40歳以上）

組手

- 1. 幼児の部
- 2. 小学1・2年の部
- 3. 小学3・4年女子の部
- 4. 小学3・4年男子の部
- 5. 小学5・6年女子の部
- 6. 小学5・6年男子の部
- 7. 中学生女子の部
- 8. 中学生男子の部
- 9. 少年女子の部
- 10. 少年男子の部
- 11. 一般女子の部
- 12. 一般男子有級の部
- 13. 一般男子有段の部
- 14. シニア女子の部（40歳以上）

15. シニア男子の部（40歳以上）

(4) 大会プログラムは冊子化せず、データで開催1週間前までに送信する。(杉空連HPに掲載するとともに各団体責任者にも送信)

2. 競技ルール

・別添1の通り。

3. 表彰対象

表彰対象者には、各競技終了後、氏名を確認の上、賞品のみ渡す。賞状は後日各団体あて送付する。

〈別添1：秋季大会 競技ルール〉

競技について

試合ルールは、(公財)全日本空手道連盟 競技規定(組手競技、形競技)および本大会競技規定に準ずる。

形競技

- * 個人戦、団体戦とも点数制とする。
- * 団体形の構成員は3人(最少2人)で構成できれば参加可能とするが、各団体から2チームまでとする。
- * 基本形は、全日本空手道連盟の定める基本形及び基本的な形すなわち、太極、ナイファンチン、鉄騎とし、申し合わせ事項による対応で不必要な減点を与えない対応を可能とする。(会派や道場における微細な差異を減点対象としない)

【参考】JKF 制定基本形

基本形一：ゲキサイ第一・第二

基本形二：平安初段～五段(糸東流)

基本形三：平安初段～五段(松濤館)

基本形四：ピンアン初段～五段

- * 予選において、個人戦は全て赤青同時に行い、団体形は、赤青交互に行う。本選は、個人戦は1名ごと、団体形は1団体ごとに行う。
- * 審判員は3名または5名とする。
- * 競技区分ごとの選定形については下記表のとおり。

	予選	本戦	繰り返し
団体形	基本形・指定形	自由形	同一形の連続使用可。
幼児～小学生1・2年生	基本形	自由形	同一形の連続使用可。
小学生3・4～5・6年生	基本形	自由形	同一形の連続使用不可。
中学生・少年・一般・シニア	基本形・指定形	自由形	同一形の連続使用不可。

組手競技

- * 中学生以下はフルタイム1分(4ポイント差がついた時点で終了とする)。
- * 少年、段外、シニア及び一般男子・女子の部はフルタイム1分30秒(但し、6ポイント差がついた時点で終了とする)。
- * 10カウントルールは、適用しない。
- * 次の試合用安全具の装着を義務付ける。

組手試合用安全具

装着を忘れると失格になります。

種 目	拳サポーター	メンホー	ボディ プロテクター	ファールカップ	インステップ・ シンガード
幼 児	○	○	○		○
小学生1～4年	○	○	○		○
小学生5、6年	○	○	○道衣の中	○男子のみ	○
中学生男・女	○	○	○道衣の中	○男子のみ	○
少年 男・女	○	○	○道衣の中	○男子のみ	○
一般男子有級	○	○	○道衣の中	○	○
シニア 男・女	○	○	○道衣の中	○男子のみ	○
一般男子有段	○	○	○道衣の中	○	○
一 般 女 子	○	○	○道衣の中		○

- * 拳サポーターはメンホー着用競技向け(親指カバー付き)の赤・青サポーターとし、赤(青)の側は青(赤)の拳サポーターを使用できない。
- * インステップ・シンガードは着用必須とし、WKF、JKF、高体連検定品に限る。
- * ボディプロテクターは、一般男子有段以外は必須とする。女子はチェストプロテクターも可とする。
- * JKFメンホーは全空連規定通り、メンホーV、VI、VIIを使用。

【得点】

- 1 本(3ポイント):上段蹴り、投げられた、又は自ら倒れた相手への得点技
- 技有り(2ポイント):中段蹴り
- 有効(1ポイント):中段、又は上段突き、打ち

【禁止行為】

カテゴリー1(C1)審判ジェスチャは両手をクロスする。

過度の接触技、禁止部位への攻撃、危険または禁止されている投げ技。

なお、小中学生及び高校生では頭部、顔面又は頸部(又はフェイスマスク)へのコンタクトは禁止とし、得点距離は10cm以内とする。

H30年度改定の付録10 14歳未満の競技規定通り、小学生は上段蹴りの軽い接触(スキンタッチ)も禁止とし、足払い、テイクダウン技も禁止となる。

なお、中段攻撃に関しては、従来通りとする。

カテゴリー2(C2)審判ジェスチャは違反者の顔面を人差し指で指す。

負傷を装うこと。誇張すること。

場外、無防備、攻撃のない逃げ行為や単なる押し合い、つかみ合い。

胸を突き合わせたりすること。

危険またはコントロールのない攻撃。

頭部、膝、肘での攻撃動作。

不活動。

不作法な態度、行為。

参加上の注意

- * 参加者は定められたゼッケンNOを背部につける。
- * 健康保険証を持参する。
- * 競技中の傷害について応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- * 大会対象の傷害保険には加入するが、各自でスポーツ傷害保険に加入しておく。

以上